

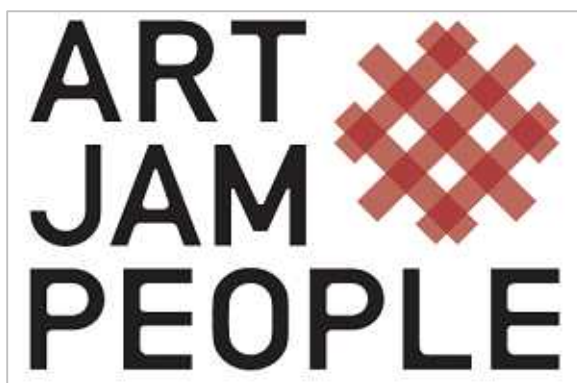
各 位

東京都渋谷区桜丘町20番1号
株式会社アミューズ
代表取締役社長 畠中 達郎
東証第1部(コード番号:4301)



(株)アミューズの新たなアートプロジェクト Art Jam People 始動!

アーティスト(芸術家)のマネージメント、プロデュースを中心としたアートプロジェクトの企画・制作、コーディネート、キュレーションや、企業や社会とアーティストを繋げる事業・イベント・商品開発を行ないます。



「Art Jam People」オフィシャルWEBサイト www.artjampeople.com 4月27日(火)OPEN

総合エンターテインメント事業を展開する株式会社アミューズ(代表取締役社長:畠中達郎 本社所在地:東京都渋谷区)では、新たなアートプロジェクト「Art Jam People」を始動させます。

アミューズでは、公募型アートイベント「AMUSE ARTJAM」(2002年～2009年 京都)の開催や、現代アートギャラリー「ArtJam Contemporary」(2008年7月～2010年3月 東京・恵比寿)の運営のほか、国内外のアートフェア・アートイベントへの参加など、様々なアート事業を展開してまいりました。

「Art Jam People」は、今までに行ってきたアートイベントの企画制作とギャラリー運営の経験、そして何よりアミューズの強みであるアーティストマネージメント力・プロデュース力を活かし、ミュージシャンや俳優と同様に「文化の作り手・担い手である、イラストレーター、デザイナーなどもマネージメント・プロデュースしていこう!」という発想で、アーティスト(芸術家)のマネージメント、プロデュースを中心としたアートプロジェクトの企画・制作、コーディネート、キュレーションや、企業や社会とアーティストを繋げる事業・イベント開発、商品開発を行っていくことを目指します。

4月27日(火)に「Art Jam People」専用サイトを立ち上げた後、プロジェクトの第一弾活動としては、東京・日の出に新しく誕生するクリエイティブ・スポット「TABLOID」(タブロイド 東京都港区海岸2-6)のオープニングイベント(5月11日・火)への参加が決まっています。

イベント参加アーティストは、以前よりアミューズでマネージメントを行っているイラストレーターの^{ジュナイダ}junaidaに加え、新たに「Art Jam People」で契約することになった^{ドナ}DONA(イラストレーター/グラフィックデザイナー)、^{ナガバ ユウ}長場 雄(アーティスト/イラストレーター/グラフィックデザイナー)、^{ヌイコ}nuico(人形作家)の計4人です。

アミューズでは、この「Art Jam People」というプロジェクトで、アートという分野のエンターテインメント性を引き出し、より多くの人にアートが生み出す創造性、価値観、楽しさ、驚き、発見を届け、共有していく事を、アーティストと共に目指していきたいと考えています。

「Art Jam People」契約アーティスト**junaida(ジュナイダ) 画家・イラストレーター**

1978年生まれ。京都在住。京都精華大学卒業後、画家、イラストレーター、絵本作家として活動。2006年に韓国で行われた世界水彩画連盟創立記念展に日本代表として参加し、その優れた作画力や物語性は高い評価を受ける。国内外の個展や展覧会で作品を発表し、2009年7月に京都で開催された個展「seven」では新作を含む39点の原画を展示。心にずっと沁みこむ、ファンタジーとノスタルジーが交錯する風景や、優しさや静謐さを秘めた人物像は、観る人を瞬時に想像の世界へと導き、日本全国から訪れた多くの来場者を魅了した。

これまでに日本テレビ系ドラマ「ホテルノヒカリ」のタイトルバック作画、女優・綾瀬はるかさんのフォトブック「フロート」(ワニブックス)のイラスト制作、渋谷駅八公前広場で行われたクリーンエネルギー実証実験のメインビジュアル、楽しく食育を伝えるサイト「るるる食育団」のメインビジュアルとキャラクター制作などを手掛け、近年では継続してイラストを担当しているアコースティックユニット「羊毛とおはな」のCD「どっちにしようかな」にjunaidaによる書き下ろしの絵本も収録され、絵本作家としての活動にも期待が高まる。「AMUSE ARTJAM in Kyoto 2004」での準グランプリ受賞以後、アミューズに所属。

nuico(ヌイコ) 人形作家

1984年福岡県生まれ。2008年武蔵野美術大学卒業。「縫い」の「ヌイ」に、コドモのような視点を持つ作家自身と制作する人形をコドモのように思うことの「コ」を合わせて「nuico(ヌイコ)」という名前で活動。ぬいぐるみの手法を使った彫刻的な立体作品や、物語性のある空間演出を手掛け、制作は全て手作り。テーマやストーリー、人形の性格に合わせて生地、ボタン、レース、ビーズ等を選ぶ。縫い目やカタチは時に不細工な事もあるが、その「不完全さ」が個々の作品に個性と感情を与える。

これまでに、ファッションブランド20,000,000 fragmentsのヤングアーティストコラボレーションとして、表参道のセレクトショップ「LOVELESS」のウィンドウディスプレイに携わり、ファッションブランド「YAB-YUM」の渋谷パルコストアリニューアルの際には、マネキンドールを特別に制作。2009年には、omoh galleryにて開催されたグループ展への参加、LAMP harajuku galleryでの初個展、青山のYOKE hairでの展示「もじゃもじゃ髭のある男(ヒト)」など、作家としても精力的に活動を行う。

長場 雄(ナガバ ユウ) アーティスト/イラストレーター/グラフィックデザイナー

1976年東京生まれ。東京造形大学卒業。ゆる～い笑顔と「先生」なのにちょっととぼけた風体が、気になる存在感を放つキャラクター「かえる先生」の生みの親。4コマ漫画、グッズ、エキシビション、イラストレーション等様々なメディアでの展開により人気を高め、東京のデザインの流れを伝えるフリーペーパー・Tokyo Design Flowでの4コマ連載や、ラフォーレ原宿1階にあるH.P. FRANCE WALL ART SCENEで作品展示も行う。

また、デザイナーとしてDesign T-shirts Store graniphのデザインワークや、PV、テレビ、書籍装丁、雑誌等でイラストを手掛ける傍ら、2009年にはLAに拠点を置くStar Graphicsが出版するアート本「Megane Zine 2」でのドローイング・ペインティング作品のフューチャー、グループ展「Megane Exhibition 2」(HVW8ギャラリー、LA)への参加などアーティストとしても精力的に活動を続ける。プロレス、パンツ、ダッチワイフ、アイスクリーム、おしり、パンダといった「男の子」が興味を持つ対象を、迷いのないラインでストレートに表現する作品は、見る人に爽快さを与えると同時に、過去の記憶やオトナが忘れがちな遊び心呼び起こす。

DONA(ドナ) イラストレーター/グラフィックデザイナー

1981年東京都出身。2004年武蔵野美術大学卒業、2006年多摩美術大学大学院卒業。大学在学中の2002年より作品の展示活動を開始し、2004年に第24回グラフィックアートひとつぼ展入賞、2005年にはNew York ISE CULTURAL FOUNDATION summer festival審査員賞・NY市民賞を受賞し国内外より高い評価を受ける。

モチーフを繊細に描写するドローイングや、ドリーミーな空気感を作り上げるアートディレクションに定評があり、これまでに池上永一氏の著書「バガージマヌパナス わが島のはなし」の装丁や、雑誌とウェブで展開中の「minnk」のイラストレーション&アートディレクションを手掛け、その他にも多数の雑誌や音楽、広告、ファッション、プロダクト等幅広い分野で活躍中。また、2003年より描き始めたプライベートワーク「PARADISE」では、日常の出来事により生じる自身の触れ動く感情を「記録」するかのようには描き続け、現在では縦5m×横9mの大作に発展。2012年に完成を予定している。

以上

株式会社アミューズ グループ経営企画部 広報・IR室

<<<この件に関するマスコミの皆様からのお問い合わせ先>>>

TEL:03-5457-3358

<<<この件に関する投資家・株主の皆様からのお問い合わせ先>>>

TEL:03-5457-3390 (土・日・祝祭日を除く午前11時より午後5時まで)